

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	広島都市学園大学
設置者名	学校法人古沢学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
健康科学部	看護学科	夜・通信	0	0	21	21	13	
	リハビリテーション学科 理学療法専攻	夜・通信			20	20	13	
	リハビリテーション学科 作業療法専攻	夜・通信			22	22	13	
子ども教育学部	子ども教育学科 小学校教育コース	夜・通信	0	0	15	15	13	
	子ども教育学科 初等教育コース	夜・通信			15	15		
	子ども教育学科 保育・幼児教育コース	夜・通信			24	24		
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>広島都市学園大学ホームページ → 情報公開・大学評価 → 教育情報 → 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること → 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表</p> <p>以下のURLから「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表が閲覧可能。 www.hcu.ac.jp/guide/education/jitumu.pdf</p>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	広島都市学園大学
設置者名	学校法人 古沢学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<p>広島都市学園大学ホームページ → 情報公開・大学評価 → 教育情報 → 教育研究上の基本組織に関すること → 学校法人古沢学園 役員名簿 以下のURLから、「理事（役員）名簿」が閲覧可能。 www.hcu.ac.jp/guide/education/yakuin.pdf</p>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 顧問	2018.3.18 ～ 2020.3.17	組織運営体制への チェック機能
<p>(備考) 2020年4月1日までに、複数の学外者である理事の選任を確実に実施する。</p>			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	広島都市学園大学
設置者名	学校法人 古沢学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)の作成過程 毎年、各学科でシラバス掲載内容の確認を行い、各授業担当責任者が掲載内容に沿ったシラバスを作成し、各学科長等で掲載内容が到達目標等に沿った授業スケジュールであるかについて精査している。 ・授業計画の作成・公表時期 3月下旬に作成し、公表している。 	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバス(紙媒体)・・・該当学科全学生へ配付及び ・広島都市学園大学ホームページ→学部・学科→該当学科→カリキュラム URL：www.hcu.ac.jp/subject/index.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業計画の到達目標を達成出来たか否かを、シラバス掲載の成績評価方法(例：期末試験60%、レポート20%、授業への取り組み状況10%等)によって、成績評価基準に基づいた厳格な成績評価(秀((S)、優(A)、良(B)、可(C)、不可(D))により5段階評価を行っている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学では、成績評価の客観的指標として、合格した成績評定をS、A、B、C、の4段階で行い、成績を平均化したGPAを全学的に導入している。

(1) GPAの定義

GPAについて、GPA対象授業科目のうち、履修登録した科目（履修登録後、履修取消を行わなかった科目も含む。）について、それぞれの単位数にグレードポイント（4、3、2、1、0のいずれか）を掛け、その合計ポイントを、それぞれの単位数の総和で割ったものとして定義している。

《算出方法》

$$\text{GPA} = \frac{\sum (\text{Grade Point} \times \text{履修科目の単位数})}{\text{履修科目の単位数の合計 (※未修得の履修科目の単位数も含む)}} \\ \text{※単位認定 (N) された科目の単位数は含まず}$$

(2) 成績評価の評定記号と付加するグレードポイント

成績評価は、点数方式で行われ、以下の評定記号（S～D、N）に応じ、それぞれの評定区分に応じたグレードポイント（GP）が不可される。

評価区分	評定記号と評価内容	付加するGP
100～90点	S（秀）：特に優れた成績	4
89～80点	A（優）：優れた成績	3
79～70点	B（良）：概ね妥当な成績	2
69～60点	C（可）：合格に必要な最低限度を満たした成績	1
59～0点	D（不可）：合格に至らない成績	0
	N：単位認定科目で、GPAの対象としない	なし

(3) GPAの対象となる授業科目

適用除外科目を除くすべての授業科目がGPAの対象となる。

以下の科目は、適用除外科目である、GPは付加されない。

- ① 他大学等で単位修得し、本学が「認定」とした授業科目（既修得単位認定科目など）
- ② 履修登録後、適切な手続きにより履修取消を行った科目

(4) GPAの種類

本学では、以下の2種類のGPAを算出し、学生に通知している。

- ① 通算GPA 入学時からの履修科目すべての成績評価を対象として算出
- ② 当該年度GPA 当該年度の履修科目の成績評価を対象として算出

(5) 再履修した科目のグレードポイント

本学では、不合格となった科目について、再履修して合格した場合、過去に算出した年度GPAでは、不合格になったときの成績のGPを算出対象に入ったままとなるが、通算GPAでは、以前に不合格となったときの成績はGPA算出対象外となり、再履修時の成績のGPのみが算出対象となる。

本学では、学生の成績挽回への努力を奨励するため、通算GPAでは再履修分のみを算出対象としている。

<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>広島都市学園大学ホームページ → 情報公開・大学評価 → 教育情報 → 学習の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関する事 → 客観的な指標の算出方法について 以下のURLから「客観的な指標の算出方法」の一覧表を閲覧可能。 http://www.hcu.ac.jp/guide/education/sihyou.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業の認定に関する方針 卒業年次の最終成績が確定したら、修業年限（4年）に達し、在学年限（8年以内（休学期間を除く））であること、単位修得状況が卒業要件を満たしていることを各学科教員会議で確認し、各学部教授会において卒業判定を行って、学長が卒業を認定する。 <p>※卒業の認定に関する方針の公表方法 学則に掲載 (修業年限及び在学期間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学の修業年限は4年とする。 ・学生は8年を超えて在学することはできない。なお、休学した期間は在学期間に算入しない。 <p>【参考】本学ディプロマ・ポリシー 以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生は、卒業が認定される。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 慈愛ある社会人として、自律した幸せな人生を創出できる能力 (2) 人間を広い領域から捉え人を愛する心と専門技術を統合できる能力 (3) 未来の担い手として、専門知識と生命の尊厳や人間尊重を基本とする実践ができる能力 (4) 将来専門職業人として新たな価値を創造できる能力 (5) 地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズや社会的ニーズに対応できる能力 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学生便覧を入学時に配付するとともに、以下のURLから「学位授与方針」を閲覧可能。 www.hcu.ac.jp/guide/mokuhyo.html#diplomaplcy</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	広島都市学園大学
設置者名	学校法人 古沢学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.hcu.ac.jp/guide/zaimu.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.hcu.ac.jp/guide/zaimu.html
財産目録	http://www.hcu.ac.jp/guide/zaimu.html
事業報告書	http://www.hcu.ac.jp/guide/zaimu.html
監事による監査報告(書)	http://www.hcu.ac.jp/guide/zaimu.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 広島都市学園大学→大学案内→情報公開・大学評価→自己点検・評価/認証評価 URL: http://www.hcu.ac.jp/guide/ninsyo.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 広島都市学園大学
教育研究上の目的 公表方法：広島都市学園大学ホームページ→大学案内→情報公開・大学評価 →教育情報→教育研究上の目的に関すること→学則 URL： http://www.hcu.ac.jp/guide/education.html
本学の学部及び学科の教育研究上の目的
○健康科学部 本学の建学の精神「心技一体」を踏まえ、「心」としての理論と「技能・技術」としての実践を統合化できる人間性豊かな人材を育成することを目指し、保健・医療・福祉の専門職者として、幅広い教養と豊かな人間性を身につけ、他職種との連携・協働によりヒューマンケアを実践できる人材を養成することを教育目標としている。
【看護学科】 看護職者として、人間を幅広い領域から捉え人を愛する心と専門技術を統合し実践できる能力を持ち、高度な看護知識・技術を応用し新たな価値を創造する能力を備えるとともに、他職種と協働してチーム医療を実践し、人々の健康生活のニーズや社会的ニーズに対応し得る人物的にもすぐれた人材を養成することを目的とする。
【リハビリテーション学科】 医療職者としての優れた人格と、リハビリテーション専門職者としてのキャリアを全うし得る深い知的・技術的素養を培い、小児から高齢者に至る幅広い年齢層の身体的・社会的に多様な問題を抱えた対象者に、他職種と協働してチーム医療を実践し、先進的リハビリテーションから在宅医療まで適切に実践できる包括的能力を備えた人材を養成する。
○子ども教育学部 本学の建学の精神「心技一体」を踏まえ、「心」としての理論と「技能・技術」としての実践を統合化できる人間性豊かな人材を育成することを目指し、専門分野の知識・技能とともに、それに関連する分野について幅広く学び、豊かな人間性を基礎に、社会の問題に実践的に対応できる人材を養成することを教育目標とする。
【子ども教育学科】 博愛精神やヒューマニズムに満ちた慈愛を持ち、特別な支援に関する正確な知識とケアの精神を持った人材を、質の高い子ども教育の担い手として育成するため、教育・研究することである。また、次世代を担える人材を育てることによって社会貢献に努めることを目的とする。

卒業の認定に関する方針（公表方法）：

公表方法：広島都市学園大学ホームページ→大学案内→情報公開・大学評価
→教育情報→ディプロマ・ポリシー

URL：www.hcu.ac.jp/guide/mokuhyo.html#diplomaplcy

本学では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生は、卒業が認定される。

- ・慈愛ある社会人として、自律した幸せな人生を創出できる能力
- ・人間を広い領域から捉え人を愛する心と専門技術を統合できる能力
- ・未来の担い手として、専門知識と生命の尊厳や人間尊重を基本とする実践ができる能力
- ・将来専門職業人として新たな価値を創造できる能力
- ・地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズや社会的ニーズに対応できる能力

○健康科学部

【看護学科】

以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生は、卒業が認定されます。

- (1) 平和を希求する心と豊かな人間性を身につけていること
- (2) 知識・技術の応用能力と高い倫理観を基盤にした看護実践能力を身につけていること
- (3) 地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズや社会的ニーズに対応できる能力を身につけていること

【リハビリテーション学科】

1. 総合的な臨床能力・実践力を持つ
2. 自律して自己学習できる力を持つ = 自ら改革できる能力をもつ
3. 考える力、判断する力、解決する力をもつ
= 卒業研究や臨床実習を通して課題を解決する能力を持つ
4. 国家試験に合格できる学士力を持つ

卒業学位認定要件は、これらを身につけ、規定単位127単位を修得していることである。

○子ども教育学部

【子ども教育学科】

所定の単位とともに、以下の力を修得した者に、卒業を認定する。

- ・平和を希求し、その教育に努め、幸せな人生を創造しようとする力
- ・人間愛のもと、ケアすることの意義を教育・保育の専門性において学び、専門的な知識・技術との統合を図る力
- ・修得した専門的な知識・技術を活用し、教育者・保育者として実践する力
- ・教育者・保育者として研究し、新たな価値の創造を図る力
- ・社会との連携を図り、人々の教育的・保育的ニーズや社会的ニーズに応えることができる力

教育課程の編成及び実施に関する方針

公表方法：広島都市学園大学ホームページ→大学案内→情報公開・大学評価

→教育情報→カリキュラムポリシー

URL：www.hcu.ac.jp/guide/mokuhyo.html#curriculumplecy

本学は、幅広い知識と深い専門知識・技術を応用し、新たな価値を創造する能力を持つとともに、博愛精神・人間愛を有する人材を養成することを目標としている。こうした目標を達成するために、教育課程を教養科目、専門基幹科目、専門展開科目の3分野に大別し、学年進行とともに、体系的に学習できる編成とする。

- ・教養科目は、幅広い視野で体系的に学識を吸収し、豊かな人間性を涵養するとともに、人間として必要な思考力と感性を備えることができる授業科目とする。
- ・専門基幹科目は、専門職として必要な専門的知識・技術が修得できる授業科目とする。
- ・専門展開科目は、専門職として必要な専門的知識・技術及び他職種と連携し、社会の要請に応えるために必要な応用力を習得できる授業科目とする。

○健康科学部

【看護学科】

教育課程を教養科目、看護基幹科目、看護展開科目の3分野に大別し、学年進行とともに、体系的に学習できる編成とする。

- (1) 教養科目は、幅広い視野で体系的に学識を吸収し、豊かな人間性を涵養するとともに人間として必要な思考力と感性を備えることができる授業科目とする。博愛精神・人間愛を有することは、本学の目標とする人材養成における基盤であると考え、教養科目においては、人間の尊厳や人間を取り巻く社会環境について学修するとともに他者とのコミュニケーションを円滑に行うための技術を教育する。
- (2) 看護基幹科目は、看護専門職として必要な基礎的知識・技術を修得することができる授業科目とする。幅広い知識を身につけることは、多角的な視点を持ち専門知識・技術を応用できると考え、看護基幹科目においては、医学、福祉学、法学、経済学、情報学等の専門知識に関連した様々な分野の知識を教育する。
- (3) 看護展開科目は、看護専門職として必要な専門的知識・技術及び他職種と連携し、社会の要請に応えるために必要な応用力を修得できる授業科目とする。さらに、教養科目及び看護基幹科目で修得したことを踏まえて、将来看護の専門性を高めるために必要な総合的な判断力や自ら研究するための基本的能力を修得できる授業科目とする。また、新たな価値を創造する能力を身につけるには、専門知識・技術を深め、さらにそれら専門知識・技術とそれら以外の知識を統合する必要があると考え、看護展開科目においては、基礎から応用までの看護知識・技術を深く教育し、さらに最終段階として4年次にそれらを統合する能力を身につけさせるための科目を配置する。

【リハビリテーション学科】

本学の教育理念に基づき高い教養をもった専門職を養成するため、以下のような方針に基づいてカリキュラムを編成している。

1. 4年間の修得科目において、1年次では基礎学力、専門基礎教育に力を入れている。また人間性、マナーを含めたコミュニケーション能力の育成をめざす。さらに2年次では、専門基礎科目に加え、専門基礎科目を基盤とした上で、より高い専門性や応用力を身につけるための専門科目の学習に力を入れている。教育指導は、担任制、チューター制を導入し個別指導を主体に行なう。
2. 3、4年次では大学生にふさわしい学士力と実技技能を含めた専門的能力を高める。

○子ども教育学部

【子ども教育学科】

教育課程を「基礎教養科目」「専門基礎科目」「専門発展科目」の3群で構成し、体系的な学修、専門的な技術の修得を図る。

- ・「基礎教養科目」は、人間力の育成を中心とした、大学での学びの基礎となる授業科目とする。
 - ・「専門基礎科目」は、教育・保育を専門とする基礎的な知識や技能を修得する授業科目とする。
 - ・「専門発展科目」は、教育・保育の高度な知識や技能を修得する授業科目とする。
- とりわけ、ケアすることの重要性を教育・保育の専門性において学び、専門的資質や能力、実践力を養成する。さらに、特別な支援を必要とする子どもへの理解やかかわり方について学ぶ。

入学者の受入れに関する方針

公表方法：広島都市学園大学ホームページ→大学案内→情報公開・大学評価

→教育情報→アドミッションポリシー

URL：www.hcu.ac.jp/guide/mokuhyo.html#admissionpolicy

本学は、「心技一体」という建学の精神を継承し、学術の中心として広く知識を受けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的、及び応用的能力を培うことにより、人を愛する豊かな心と優れた技術を統合できる有能な人材を育成し、地域社会及び国際社会の発展に寄与することを目的とする。

そこで、

- ・人を思いやり、人を愛する心のある人
 - ・専門職業人としての高い資質を身につけ活躍したい人
 - ・自分の考えを積極的に話せて人とコミュニケーションをとれる人
 - ・ボランティアの素養を持ち、活動ができる人
- を求めている。

○健康科学部

【看護学科】

「心技一体」の建学の精神に則り、学生一人ひとりが人間としてよりよく生きること、看護職者としての楽しさややりがいを教授する。

そして、

1. 平和な心と豊かな人間性をもつ人材の育成を目指している。
2. 柔軟な思考力に基づく知識・技術の応用能力と高い倫理観を基盤にした実践能力のすぐれた人材の育成を目指している。
3. 時代の変化に合わせて、地域社会・国際社会に貢献できる心と技を備えた人材の育成を目指している。

そこで、

- ・人を思いやり、人を愛する心のある人
 - ・医療人としての高い資質を身につけ活躍したい人
 - ・自分の考えを積極的に話せて人とコミュニケーションをとれる人
 - ・ボランティアの素養を持ち、活動ができる人 ・基本的な生活習慣や、マナーが身に付いている人
- を求めている。

【リハビリテーション学科】

「心技一体」の建学の精神に則り、博愛精神・人間愛を有し、急激な環境変化に対応し得る高度な知識・技術を応用・創出し、学術を中心として授けるとともに、積極的思考の展開で保健・医療・福祉・教育の包括的アプローチを通じて地域社会、国際社会に貢献する人材を養成することを目的としている。そこで、単に基礎学力が高いだけでなく、豊かな人間性や明確な目的意識、保健・医療分野を生涯の職務とするという志を持った人材を確保するため、以下の資質・能力を持った学生を求めている。

- ・人を思いやり、人を愛する心のある人
- ・医療人としての高い資質を身につけ活躍したい人
- ・自分の考えを積極的に話せて人とコミュニケーションをとれる人
- ・ボランティアの素養を持ち、活動ができる人
- ・基本的な生活習慣や、マナーが身に付いている人

○子ども教育学部

【子ども教育学科】

- ・ケアの精神と能力を有し、人を思いやり、人を愛する心のある人
- ・教育者、保育者としての高い資質を身につけ地域社会において活躍したい人
- ・自分の考えを積極的に表現し、他者とコミュニケーションをとり、協働して問題解決に取り組むことができる人
- ・ボランティアの精神を持ち、積極的に活動しようとする人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：

広島都市学園大学ホームページ → 大学案内 → 情報公開・大学評価 → 教育研究上の基本組織

URL：<http://www.hcu.ac.jp/guide/education.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
—	2人	—					2人
健康科学部	—	15人	16人	16人	5人	3人	55人
子ども教育学部	—	8人	6人	3人	0人	0人	17人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		0人					0人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： 広島都市学園大学ホームページ→情報公開・大学評価→教員組織及び教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること →教員紹介 http://www.hcu.ac.jp/guide/education.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
健康科学部	200人	207人	103%	800人	802人	100%	0人	0人
子ども教育学部	78人	34人	43%	312人	155人	49%	4人	0人
合計	278人	241人	86%	1112人	957人	86%	4人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
健康科学部	194人 (100%)	1人 (0.51%)	175人 (90.21%)	18人 (9.28%)
子ども教育学部	27人 (100%)	0人 (0%)	21人 (77.78%)	6人 (22.22%)
合計	221人 (100%)	1人 (0.45%)	196人 (88.69%)	24人 (10.86%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 健康科学部は病院関係、子ども教育学部は教育・保育関係。				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
健康科学部	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
子ども教育学部	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>毎年、各学科でシラバス掲載内容の確認を行い、各授業担当責任者が掲載内容に沿ったシラバスを作成し、各学科長等で掲載内容が到達目標等に沿った授業スケジュールであるかを精査している。</p> <p>また、授業計画は3月下旬に作成し、授業科目・授業内容を公表している。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>学修の成果に係る評価</p> <p>授業計画の到達目標到達が出来たか否かを、シラバス掲載の成績評価方法（例：期末試験 60%、レポート 20%、授業への取り組み状況 10% 等）によって、成績評価基準に基づいた厳格な成績評価（秀（S）、優（A）、良（B）、可（C）、不可（D））により5段階評価を行っている。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
健康科学部	看護学科	124単位	有・無	前期・後期各28単位
	リハビリテーション学科	127単位	有・無	前期・後期各28単位
子ども教育学部	子ども教育学科	126単位	有・無	1年間48単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		<p>公表方法：</p> <p>学生手帳へGPA制度の具体を掲載して、各学期末の成績通知時にGPA値を通知。</p>		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		<p>公表方法：</p> <p>学習意欲向上のため、成績優秀者に対して学生表彰制度を導入（学生便覧掲載）</p>		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：

○施設・設備：<http://www.hcu.ac.jp/guide/facilities.html>

○学科等案内 URL

・看護学科：http://www.hcu.ac.jp/subject/ka_message.html

・リハビリテーション学科

理学療法学専攻：<http://www.hcu.ac.jp/subject/rigaku.html>

作業療法学専攻：<http://www.hcu.ac.jp/subject/sagyou.html>

・子ども教育学部：<http://www.hcu.ac.jp/subject/kodomo.html>

○校舎へのアクセス方法

宇品キャンパス(看護学科、子ども教育学部)：<http://www.hcu.ac.jp/guide/access.html>

西風新都キャンパス(リハビリテーション学科)：<http://www.hcu.ac.jp/guide/access.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
健康科学 部	看護学科	1,300,000 円	250,000 円	200,000 円	—
	リハビリテーション学科	1,300,000 円	250,000 円	200,000 円	—
子ども教 育学部	子ども教育学科	780,000 円	200,000 円	200,000 円	—
		円	円	円	

※2019年度入学生から授業料改定(2018年度以前入学生は下表のとおり)

※2018年度以前入学生

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
健康科学 部	看護学科	1,500,000 円	250,000 円	0 円	—
	リハビリテーション学科	1,500,000 円	250,000 円	0 円	—
子ども教 育学部	子ども教育学科	990,000 円	250,000 円	0 円	—
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) ○成績不振者への取組 看護学科：チューター（主・副）制度を導入して、学生個々への支援を実施。 また、本年度より学習支援センターを開設して、成績不振学生からの相談や成績不振学生の抽出呼び出し等を行って補充教育等を実施。 リハビリテーション学科：学年担任及びチューター制度を導入して、学生個々への支援を実施 また、本年度より学習支援センターを開設して、成績不振学生からの相談や成績不振学生の抽出呼び出し等を行って補充教育等を実施。 子ども教育学部：学年担任及びチューター制度を導入して、学生個々への支援を実施 また、成績不振学生からの相談や成績不振学生の抽出呼び出し等を行った指導を実施。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリアサポートセンター（全学組織）が中心となって、各学科設置のキャリアサポート委員会等が学生個々の希望に沿った進路指導を実施。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) ○学生相談室：充実した学生生活を支援することを目的として、各キャンパス（健康科学部、子ども教育学部）で助言や指導を実施。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

教員組織及び教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関する情報を公表

広島都市学園大学→大学案内→情報公開・大学評価→教育研究上の基本組織に
関すること

URL：<http://www.hcu.ac.jp/guide/education.html>